一般質問
《９月会議》

質問内容の紹介

- ●コロナ関係…ワクチン接種の状況と今後の対応
- ●福祉……補聴器購入支援、家庭内介護者への支援、生理の貧困
- ●くらし……自治会の継続性、除排雪、帯状疱疹ワクチン、生活支援体制づくり、歩道及び待避所設置、福祉避難所
- ●育児・教育…子どもの医療費助成、放課後児童クラブ、教科担任制度、保育園の施設充実
- ●安全……通学路の安全確保
- ●環境……林地開発行為
- ●財政……ふるさと納税

新志会
山谷（やまや） 仁（ひとし） 議員

【問】各学校からの通学路整備に関する要望件数と改善件数は。

【答】整備要望と改善は、元年度は８校から39件のうち４件、２年度は８校から31件のうち２件の改善で、３年度は10校から38件のうち３件の改善予定です。

【問】各要望への回答は。

【答】毎年度２月ごろに改善検討および回答を学校教育指導課を通じて実施しています。

【問】今後の改善予定は。

Q 通学路の安全確保は
A 危険箇所は早期の対策に努めます

【答】規制の関係９件、施設は県道も含め整備・改善を予定しています。

また千葉県の事故を受け、市道の18件について教育委員会主導で７月に緊急点検を実施し、４箇所の改善を決定しました。

【問】通学路の安全確保は。

【答】計画済の路線も含め危険箇所は早期の対策に努めます。

【問】65歳以上のワクチン接種実績は。

【答】２回目の接種人数は１１９６２人で接種率83・６％となり、８月中旬には概ね終了したものと捉えています。

【問】医療・教育関係者、施設従事者、保育士等の接種状況は。

【答】医療従事者は県が主体で進めており、７月には全国の対象者が終了したと公表されています。

施設従事者は１９５人が完了で、市独自の優先接種の保育・幼稚園、学校関係者等の希望者の接種も目途が立ちました。

会派に属さない議員
奥津（おくつ） 一俊（かずとし） 議員

【問】開発面積１ha以下の林地開発行為に対する適正な林地利用を誘導させる方策は。

【答】森林法に基づく届出書の提出を徹底させるとともに、無届伐採に対しては、再発を防止するために指導します。

【問】ネット社会に沿ったツールを利活用した、自治会役員の負担軽減化手法の構築は。

【答】今年度、自治会を取り巻く環境把握や課題整理を行う予定で、各自治会の現状に即した支援を研究します。

【問】コロナに関する市長メッセージの内容や媒体等に対する改善は。

【答】蓄積されたさまざまな知見や情報のうち、市民に伝えるべき情報もあることから、併せて提供できるように、情報発信の改善を検討します。

【問】基本的感染対策の再徹底に対し、日常生活に直結できる定量的・客観的表現を追記すべきでは。

【答】本市のホームページにリンクした国作成の最新情報で示していますが、今後は広報等により改めて周知を図ります。

【問】小学校において、取り組むべきコロナ対策は。

【答】児童生徒に対する朝の健康観察、緊急スクールサポートスタッフによる消毒作業等、感染源や感染経路を絶つ取り組みを行っています。

また、本市独自の取り組みとして、教職員に対するワクチンの優先接種を行っています。

Q 適正な林地利用を誘導させる方策は
A 届出書の提出を徹底させます

日本共産党
川口（かわぐち） 清之（きよゆき） 議員

【問】高校生の医療費助成の未実施は、本市を含め６市町しかないが、子育て支援、若者定住に逆行するのでは。

【答】子どもの医療費助成の拡充が子育て支援や若者定住につながるひとつの手段と認識していますが、施策拡充については、総合的に判断して検討します。

【問】本市の所得制限は、県基準と違うが。

【答】県の所得制限限度額を超え、市独自で３歳未満の乳幼児に医療費助成をしています。

【問】非課税者の自己負担があるのは本市を含め２市町だけであるが詳細は。

【答】小学生の入院外と中学生は、自己負担をお願いしています。

【問】助成対象を高校生まで拡張した場合の必要予算額は。

【答】医療費分のみでは、所得制限を設けた場合４５０万円程度です。

【問】障がい者等の困難を抱える方のワクチン接種の状況は。

【答】接種に当たり配慮の必要な方には個々の状況を把握し、医療機関と協力しながら対応します。

【問】12歳から15歳までのワクチン接種会場と予約方法は。

【答】８月30日から予約を受け付け、９月６日から接種を開始しています。

会場は小児科等、市内３医療機関です。予約方法はインターネット予約と電話予約です。

Q 高校生の医療費助成がないのは若者定住に逆行するのでは
A 総合的に判断して検討します

日本共産党
仲田（なかた） 孝行（たかゆき） 議員

【問】難聴者への認知症診断時の聴覚検査の実施は。

【答】問診時に聴力の低下が疑われる場合に、専門医につなぎ検査を行う場合もあります。

【問】老年性難聴者の人数の把握は。

【答】検査は実施していないため把握していません。

【問】多くの自治体で老年性難聴者に補聴器購入の補助を始めているが、本市でも実施する考えは。

【答】市単独での実施は考えていませんが、国・県による補助制度が創設されれば実施を検討します。

【問】家庭内介護で苦しんでいる介護者（ケアラー）を支援する制度は。

【答】サービス利用の前に、介護家族の負担を把握し、その軽減のため支援の組み立てを行います。今後も負担の度合いを把握し、その軽減につながるよう支援に努めます。

【問】子ども・若者ケアラーに特化した相談窓口の設置の考えは。

【答】ヤングケアラーを含む子どもに関わる困りごとは児童福祉課が主管課として対応しており、他の機関から相談を受け当該課で関係機関と連携した支援をしていますので、特化した窓口の設置は考えていません。

【問】６月会議の「本市に生理の貧困はない」との答弁は実態を調査した上でのものか。

【答】市内の全小中学校に対し調査を行ったもので、憶測で答弁したものではありません。

Q 老年性難聴者への補聴器購入を支援する考えは
A 国・県による補助制度が創設されれば実施を検討します

滝沢市民クラブ 日向（ひなた） 裕子（ゆうこ） 議員

Q 鵜飼小学校区の放課後児童の環境改善は

A 新設により待機児童が解消されました

【問】鵜飼小学校区の放課後児童クラブの新設で、放課後児童の環境は改善されたか。

【答】新規の「放課後キッズクラブにじいろ」を含め4か所設置になり、待機児童が解消されました。

【問】待機児童の増加、保育環境、支援員の労働環境における本市の状況は。

【答】利用児童数は増加傾向にありその対応とともに、保育環境や支援員の労働環境等の現状を把握し、改善に努めます。

【問】コロナ禍の拡大防止対策への支援は。

【答】国の補助金等を活用し、感染防止のための物品購入や消毒作業等、支援員の時間外対応への補助を行っています。

【問】父母会が運営するクラブへの支援は。

【答】継続して安定した運営が図られるよう連携、協力、相談等の体制整備に努めます。

【問】積雪時の除排雪において、市内の作業受託業者は確保されているか。

【答】ここ数年の受託業者は40社ほどですが、除雪機械のオペレーターの高齢化に加え厳しい労働環境から、担い手が不足しています。

持続可能な除雪業務を継続するために、業者や地域との懇談会を設け、除雪作業の環境改善を進めます。

【問】団地内等の道路除排雪は行き届いているか。

【答】現状を改善するために、地域にあった除雪体制構築の支援に努めます。

公明党 小田島（おだしま） 清美（きよみ） 議員

Q 帯状疱疹ワクチン接種への公費負担は

A 情報収集を継続し対応を検討します

【問】帯状疱疹ワクチン接種の公費負担への見解は。

【答】帯状疱疹の予防ワクチンは50歳以上の方に対する予防を目的に任意接種することができるようになっています。

現在のところワクチンの公費負担は予定していませんが、今後も情報収集を継続し、市民の健康維持のために、対応を検討します。

【問】高齢者が安心して住み続けられる地域の支援体制づくりは。

【答】多様化する高齢者の支援サービスの創出を目的に「生活者支援体制整備事業」として市民主体の取り組みを推進しています。

今後は、すでに地域で活動している生活支援の担い手や、シルバー人材センター等の関係機関からも意見を伺い、生活支援の担い手養成講座の開催を始めとし、地域のニーズに合ったサービスの創出に向けて方策を検討します。

【問】2022年4月から始まる5・6学年の教科担任制度の対応は。

【答】来年度、滝沢中央小学校のジョイントアップ・スクール事業の学校公開研究会で、小学校での教科担任制の望ましい在り方について、その成果を発表し、他の学校でもそのアイデアを活用しながら、市内の教科担任制による指導体制の充実を図ります。

滝沢市民クラブ 松村（まつむら） 一（はじめ） 議員

Q 保育園の施設充実対策は

A 必要に応じて施設側の判断により実施します

【問】多くの保育施設で床暖房およびエアコン設備が多目的ホールには未設置だが、今後の設置計画は。

【答】ホールへのエアコン未設置が6施設あります。扇風機だけでは熱中症の危険性もあることから、ホールのエアコン設置は有効です。

保育対策総合支援事業費補助金を活用し、設置を進めています。今後も現状把握に努め、子育て環境の充実を図ります。

床暖房設備については、必要に応じて施設の判断により設置するものと考えています。

【問】地域住民の悲願である、大石渡線の歩道設置計画は。

【答】この路線は平成4年度に県から移管を受け、市道認定しており、道路整備計画に置いても歩道設置必要路線として位置付けています。

次期総合計画策定に合わせて道路整備計画の見直しを予定しており、その中で検討します。

【問】大石渡1号線、一王子大石渡幹線への待避所設置の見通しは。

【答】この路線は幅員が狭く拡幅等の要望があり、待避所の設置について検討を進めています。

市道への待避所設置については、国からの交付金を活用し、危険度に応じ通常の維持管理の範囲で検討します。

会派に属さない議員 菅野（かんの） 福雄（ふくお） 議員

Q 福祉避難所の運営は

A 直接指定福祉避難所に避難できるようになります

【問】岩手緊急事態宣言が発令され、一日の最大想定感染者数を超えた事態の対応は。

【答】クラスター発生を抑えるために、小中学校教員等のワクチン接種を9月中に終える見込みです。

市内の感染拡大を抑制する取り組みを行い、県の方針に基づきながら対策を検討します。

【問】市職員の勤務体制は。

【答】不要不急の出張や外出等を避け、会議や研修はオンライン等で行います。

【問】市内企業への対応は。

【答】テレワークに関する補助金を支給し、58事業所で環境整備をしました。

【問】外出・通院困難な方へのワクチン接種は。

【答】配慮が必要な方への接種は状況を把握し、個別に医療機関と協力して対応します。

【問】福祉避難所の運営は。

【答】施行規則改正により支援を必要とする方が直接指定福祉避難所に避難できるようになります。

福祉避難所指定、対象者の把握、物資供給等の調査検討を進めます。

【問】ふるさと納税の実績と全庁を挙げての取り組みは。

【答】昨年に比べて件数が104件増えていますが、寄付額は28万円ほど減っています。

10月にはポータルサイトを一つ追加する予定であり、引き続き経済産業部を中心に事業を推進します。

滝政会 井上（いのうえ） 仁（じん） 議員

Q 働く世代の接種日時の柔軟な対応は

A 市民が自由に接種会場および日時を選択できます

【問】ワクチン接種の日程の周知方法は。

【答】現在と変わらずSNS、テレビのデータ放送、ホームページ、防災行政無線を活用します。

【問】今後の予約方法と枠の割合は。

【答】予約枠の割合を設定せず、基本的にインターネット予約とし、併せて電話も受け付けます。

【問】会場の増設・変更は。

【答】集団接種1会場および市内12医療機関での個別接種で実施します。

【問】労働現役世代の接種日時の柔軟な対応は。

【答】祝祭日を除き、ほぼ毎日いずれかの会場で接種を実施しており、市民が自由に接種会場および日時を選択することが可能です。

【問】集団接種会場での一時保育は。

【答】集団接種会場に小さなお子さんといらした場合は、会場スタッフが預かるなどの柔軟な対応をします。

【問】地域経済活性化への改善対策は。

【答】市内の感染拡大状況を見ながら、第2弾や必要に応じて別の支援策への転換等、市商工会と連携して支援します。

【問】市内企業の動向は。

【答】感染拡大状況やワクチン接種の状況といった変化を捉えながら情報収集に努めます。

【問】追加支援策の検討は。

【答】深刻的な影響を大きく受けている事業者に対する支援を検討しており、早期に対応します。

QRコードの掲載について

カメラ付きの携帯通信端末等でQRコードを読み取ると、YouTubeで配信している録画映像をご覧になれます。